



南十字星

発行者
クイーンズランド
補習授業校
校長
丸山吉信



絵 中 2 石岡俊佑
「思い出の海」

第四学期の始業に寄せて

日本は今が本格的な冬ですので、暖冬といえども、日本の人々は毎日寒い日々を過ごしていることでしょう。ここオーストラリアのクイーンズランド州は今が真夏ですので、暑い日が続いています。昨年より涼しい夏ですが、セミの声が聞こえたり、スーパーに半切りのスイカが並べられているのを見たりすると、夏らしさを感じられます。

在校生や保護者の皆様は長い休みをどのように過ごされたでしょうか。現地校は一月二十五日から新学期が始まります。また、補習校は一月二十三日から第四学期が始まります。現地校では一学年お兄さん、お姉さんにな

る児童生徒も補習校では三月まで今までと同じ学年です。一年の締めくくりとして、教科書の一年分を読んでも下さい。一度学習したものを読むのはそれほど時間がかからないものです。ページをめくる毎に思い出が蘇ってきます。

今後の予定

- 一月二十三日 第四学期始業式
お正月集会
運営委員会
 - 一月三十日 かるた、百人一首大会
(幼稚部、節分)
 - 二月六日 朝の社会科学習
 - 二月八日〜二十九日 入学・継続手続き期間
 - 二月十三日 教員研修
 - 三月十二日 卒業式(十一時)
第四学期終業式
通信簿配布
- (理科の振替日はまだ決定していません。)

全校朝礼スピーチ

十二月十二日

中二 石岡俊佑

皆さんは油井亀美也さんをご存知ですか。彼は四五歳で宇宙へ飛び出し、昨日、日本時間の十時頃無事地球に帰還しました。宇宙ステーション ISS では、一つのミスが命取りになるという環境でありながら、「このとり」という補給機のドッキングに成功させるという任務を遂行してきました。そんな亀美也さんは、「すべての人間はミスをおかす可能性がある」ということを念頭に置いておられるそうです。ミスをした時、反省の気持ちを切り替え、ミスへの対処を優先しているそうです。

皆さんも失敗を恐れずに、色々なことにチャレンジし、もし失敗しても対処を優先してはどうでしょうか。

文化祭を振り返って

「南十字星」ですでに取り上げたように、今年度は昨年度の補習校祭りを土台にして、名称を「文化祭」と変更し、学習指導要領の文化的行事の目標に沿った活動をしました。日頃の学習成果を発表したり、芸術や文化に触れ

たり、模擬店を楽しんだりしました。それぞれとてもよくできた文化祭でした。児童生徒、教員、保護者の和が実ったと思います。児童生徒が「つく」ことの大切さと楽しさを少しでも学んでくれたなら、と思っています。きょうは、文化祭について書いてくれた三年一組の児童たちの日記とワールドコースト校文化祭の様子を書いてくれた中学生の作文を紹介します。

十月三十一日

北野京介

今日は文化さいでした。ぼくが一番おもしろかったと思うのは、一番さいしよのパフォーマンスの「ロミオとジュリエット」のえんぎです。なんとそのえんぎでは、仙人やピノキオがいました。しかも、ジュリエットは男が女やくをしていました。そして、ぼくの詩のパフォーマンスの時はドキドキしました。ふくぶくろを買った時は、ラスト二でした。カルピスやモスバーガー(ライスバーガー)はとくにおいしかったです。楽しかったです。

十月三十一日

グラハム南美

十月三十一日は文化さいでした。遊びがいろいろあって、楽しかったです。

私はわなげ、スーパーボールすくい、ラッキーボトルなどを遊びました。

一番好きだった遊びはスーパーボールでした。私は八こすくったので好きでした。

三年生は詩のろう読をやりました。私はきんちようしました。それで大きな声が出ませんでした。でも、間ちがえなかったです。

来年も楽しみです。

「最後の文化祭」

G C 中三 鈴木海友

十一月二十一日、補習校で文化祭が行われました。昨年まで「補習校祭り」だったのが「文化祭」に変わった今年、私達中三にとっては最後の文化祭でした。

文化祭が行われると聞いてから、私は色々考え、どうすれば楽しめるかを話し合いました。出し物と模擬店、最初はどちらか迷っていましたが、最後の文化祭なので、両方することにしました。模擬店はすぐに「たこ焼き」に決めました。出し物はダンスに決まり、曲はなぜか「ももクロ」になりました。

ダンスは、二十分休みを使って、中二の四人とやりました。しかし、二十

分休みだけではあまり進めませんでした。ホリデー間近だったので、ホリデー中に集まることにしました。ホリデーというところで、旅行に行く人や家族との用事がある人が何人かいて、全員での練習はできませんでしたが、来ることのできた人達が頑張り、結構進めたと思います。みのりちゃんが書いてくれたノートを頼りに、みんなが必死に振りを覚ええました。約二時間、みのりちゃんの家を借りてやりました。めいちゃんとのみのりちゃんによる指導のおかげで分かりにくい振付も何とかできるようになりました。

ホリデーが終わると、また二十分休みを使い、練習しました。ホリデー中來られなかった人には一から教え、來られた人は各自、自分のパートを練習しました。こうして、私達は限られた時間の中、必死に練習しました。文化祭の前の週は居残り練習をして、準備万端の状態で本番を迎えました。

「たこ焼き」は、ダンスに夢中で、あまり話し合いをしませんでした。ダンスがいい感じになり、文化祭まであと一ヶ月ちよつとの時によく話し合いをしました。誰がタコを用意し、誰がネギやチーズを買うのかなど、色々話し合いました。それを決めた後、

値段を決めたり、シフトを組んだりしました。練習もちゃんとしました。先生が場所を貸してくれ、助かりました。話し合いで、ありき君がたこ焼き器を持ってくることになっていたのですが、それを使って練習しました。しかし、みんなが合流して作り始めようとした時に、先生が貸してくれた場所に通う生徒が、「だしは?」、「卵は?」などと聞かれ、みんなはその場で焦り始めました。なぜなら、それは文化祭前夜だったからです。私とめいちゃんや卵を買いに行き、戻って来てやっとなこ焼きを作り始めることができました。

四人ずつで二つのチームに分かれて練習しました。最初はダメダメでしたが、練習していくうちに上達しました。時間が余ったので、ダンスの練習をすることにしました。練習は夜八時まで続きました。

そして迎えた当日、私達は先生に頼み、朝練をしました。事前に用意してあったカラフルなチュチュとみんな揃えた黒か白のシャツを着て踊りました。授業をパパッと終わらせて、たこ焼きの準備を始めました。たこ焼き器をセットしたり、ポスターを貼ったりしました。セットアップが終わった後、ダンスをする場所に行ってみ

した。思ったより狭くて残念でした。幼稚部から中三まで、中一を除いて全学年が何かしらの発表をしました。私達中二と中三はトリでした。

そして、いよいよ私達の番になった時、ただでさえ踊る場所が狭いのに、なぜか会場が暗くなり、私達はスポットライトを浴びました。そのせいで、自分達がステージのどこにいるのかわからなくなり、練習より踊れませんでした。

ダンスが終わった後、たこ焼きを始めました。シフトを組んだはずが四人で最後まで全員でした。値段も最終的には一ドルになったため、売り上げが思ったより低かったです。

今年の文化祭は色々ありましたが、写真もたくさん撮れ、楽しめて、補習校最後の文化祭はとてもいい思い出になりました。

